【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【公開番号】特開2000-214641(P2000-214641A)
【公開日】平成12年8月4日(2000.8.4)
【出願番号】特願平11-14838
【国際特許分類】
***Ｇ０３Ｇ　15/00　　(2006.01)***
***Ｈ０４Ｎ　 1/00　　(2006.01)***
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　15/00　　１０７
Ｈ０４Ｎ　 1/00　　１０８Ｑ

【手続補正書】
【提出日】平成18年1月20日(2006.1.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　原稿画像読取部と、
原稿積載部から１枚ずつ送り出された原稿を前記原稿画像読取部へ送り込む原稿送り込み手段と、
前記原稿画像読取部の表面に原稿を押し付けながら搬送する原稿搬送手段と、
前記原稿搬送手段を前記原稿画像読取部の表面に押し付ける複数の押付け手段と、
前記原稿画像読取部の原稿搬送方向の所定の位置で前記原稿搬送手段に搬送されている原稿の画像を読み取る画像読取手段と、
を具備している原稿処理装置において、
前記原稿搬送手段に搬送されている原稿の画像を読み取る時の前記画像読取手段の読取り位置が、原稿の搬送方向長さよりも前記原稿送り込み手段から離れている、前記複数の押付け手段の間の位置であることを特徴とする原稿処理装置。
【請求項２】　前記画像読取手段の前記読取り位置は原稿サイズによって異なることを特徴とする請求項１に記載の原稿処理装置。
【請求項３】　前記原稿画像読取部はプラテンガラスであることを特徴とする請求項１に記載の原稿処理装置。
【請求項４】　前記原稿搬送手段は無端ベルトであることを特徴とする請求項１又は３に記載の原稿処理装置。
【請求項５】　前記押付け手段はコロであることを特徴とする請求項１又は４に記載の原稿処理装置。
【請求項６】　請求項１ないし５に記載のいずれかの原稿処理装置と、前記原稿処理装置の前記原稿読取手段によって読み取られた画像を１枚ずつ給送されたシート材に形成する画像形成手段と、を備えたことを特徴とする画像形成装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】

そして、本発明は、上記目的を達成するため、前記原稿搬送手段に搬送されている原稿の画像を読み取る時の前記画像読取手段の読取り位置が、原稿の搬送方向長さよりも前記原稿送り込み手段から離れている、前記複数の押付け手段の間の位置であることを特徴とする。